

ゼロカーボン実現に向けた「行動」とこれを促す「県の施策」

2020.12.22時点 たたき台

資料5

環境部

	交通	家庭	産業	再エネ	吸収・適応	学び
現状	<ul style="list-style-type: none"> マイカーに依存、人口一人当たり保有台数は全国第2位 ガソリン・ディーゼル車9割以上 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の92%は断熱不足、ヒートショックなど健康リスク 業務用床面積は増加傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 大企業を中心に排出削減が進む ESG投資の高まりで更なる削減が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光は順調に増加しているが90%の屋根は未活用 豊富な日射量や水資源等、ポテンシャルを活かしきれていない 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害の多発、気温の上昇 都市部の緑の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から環境のためになることを実践は6割、20~30代は5割 県の気候非常事態宣言3/4が知らない
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 県内を走る車は全てEV・FCV マイカーに依存しない、歩いて楽しめるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の住宅は全てゼロエネ化 EV・蓄電池とつながり、災害に強い質の高い暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> 大企業はゼロカーボン達成 店舗・業務用ビルはゼロエネ化 サブライフェンで選ばれる企業 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー100%自立地域の確立 環境と経済の好循環 	<ul style="list-style-type: none"> 森林吸収量の維持 自然災害の被害を可能な限り回避・軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気候変動を理解(子どもから大人まで) 一人ひとりが自ら行動・実践
対策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の省エネ・脱炭素化 自動車の総走行距離の縮減(都市コンパクト化、公共交通充実) 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用機器の高効率化 住宅の高断熱・高気密化、再エネ・蓄電池の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ設備更新や電化 店舗・業務用ビルは建物全体の排出削減 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての建物に屋根ソーラー設置 小水力、バイオマス、地熱等のポテンシャルを最大限に活用 地域主導の事業化を促進 	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備、県産材の利用拡大 グリーンインフラの推進 気候変動への備え(農林業、防災・減災、自然保護等) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信と学びの場の充実 学校教育との連携 県民・NPO・事業者・行政機関のパートナーシップを構築
各主体の行動	<p>ライフスタイルの変革</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素・低燃費車両の選択 徒歩、自転車、シェアリング、公共交通の積極利用 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の断熱性能重視 太陽光×蓄電池(EV)の設置 高効率な家電に買替 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮製品・サービス選択(エシカル消費・プラスチックスマート) 環境配慮企業へのESG投資 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光×蓄電池(EV)の設置 契約電力を低炭素電源に切替 	<ul style="list-style-type: none"> 植樹や自然保護を実践 住宅に県産材利用 地域防災情報の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 環境カレッジ等の受講 環境イベントへの参加 セミの抜け殻調査
	<p>SDGs経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業活動でのEV活用 配送効率化(貨客混載、MaaS) モーダルシフト(トラック→鉄道) 	<ul style="list-style-type: none"> 高断熱住宅の供給、技術向上 施主に住宅性能を適切に説明 高効率家電の販売 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な省エネ設備投資、電化 店舗・業務用ビルのZEB化 新技術の開発、業態転換 グリーンボンド発行 	<ul style="list-style-type: none"> 他分野からの積極的な参入 RE100(再エネ×農業・製造業・交通インフラ等、多様な分野で導入) 	<ul style="list-style-type: none"> 植樹や自然保護活動に参画 適応ビジネスの創出 新品种の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 経営者における実践 従業員への環境教育 気候変動リスク把握・情報開示
	<p>県の率先実行</p> <ul style="list-style-type: none"> 公用車のEV・FCV化 公共施設への充電器設置 コンパクトなまちづくり 	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設の新築はZEB化 既存施設改修時に高断熱化 グリーンボンド発行 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光×蓄電池(EV)の設置 公共施設RE100化 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設での県産材の利用 防災拠点のエネルギー自立 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が気候変動を語る 高校生の探究的な学びの場 小中学校教育との連携
各主体の行動を促す県の施策	<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> 多車両保有者に削減計画提出義務、アイドリングストップ呼びかけ <p>新戦略の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 動く蓄電池としての電動車普及 脱炭素型のまちへ発展 自販店と連携協定を締結、太陽光と電動車をセットで普及 自然公園等でEVバスやEV優遇通行など「観光地脱炭素モデル」 EVシェア、Maas、CASE等の最適な組合せによる「まち脱炭素モデル」 インフラ、土地利用の最適化 	<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅新築時に断熱性能の検討を義務付け(省エネ基準レベル) <p>新戦略の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼロエネルギー住宅の本格普及 健康寿命も延伸 省エネ基準を上回る県推奨基準の新設、連動する補助制度検討 設計者に性能報告を義務付け、住民向け閲覧制度を新設 医療・健康業界とパートナーシップを構築、ヒートショックゼロへ 	<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> 大企業は削減計画の提出義務 大規模建物はエネ性能検討義務 <p>新戦略の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業にもSDGs経営を浸透 サブライフェンで選ばれる企業へ 中小企業の計画書任意提出制度の拡大(補助金の交付要件化) 中規模建物までエネ性能届出義務を拡大、県補助にZEBを要件化 新築時の自然エネ義務化検討 新技術提案窓口を設置、産学官でマテリアル脱炭素化等を支援 	<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅太陽光設備普及率第2位 小水力設備導入件数第1位 <p>新戦略の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 全屋根ソーラーと小水力極大化 エネルギー100%自立地域へ 地域新電力による域内経済循環 太陽光・蓄電池共同購入・PPA 太陽光・小水力ポテンシャルマップ 自然エネ信州ネットの機能強化 デジタル技術によるエネルギー需給の最適化 (要検討)水素、ソーラーシェアリング 	<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林税等による間伐、里山整備 信州気候変動適応センター設置 <p>新戦略の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> CO₂吸収量の維持 森林整備、県産材の利用拡大 グリーンインフラ推進戦略の策定・実行 自然災害の被害回避、軽減 気候変動適応計画の策定 山岳地で県独自の観測網構築 県民とのリスクコミュニケーションの強化 	<p>これまで</p> <ul style="list-style-type: none"> 信州環境カレッジで講座提供 信州環境フェアで体験 <p>新戦略の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びとパートナーシップを拡大 県民が主体的に行動へ 行動する全県民が参画するゼロカーボン実現県民会議 WEB動画講座、e-ラーニング開講 高大生の探究的な学びの場 若者を世界へ「つばさプロジェクト」 元気づくり支援金で重点支援 (要検討)ネーミングの公募